

2021年度 地球家族プログラム

グローバル・エンゲージメントセンター
旧 国際教育交流センターアドバイジング部門
小倉みどり

「地球家族プログラム」では、1998年から留学生と地域の一般家庭とが国際交流を目的として祝日・週末等を共に過ごすホームステイプログラムを企画、また2015年度からは宿泊を伴わないホームビジットも企画・運営している。しかし2020年度から続いているコロナ禍で、ホームステイ・ホームビジットプログラムは実施できないため、2021年度も昨年度に引き続き、非接触での国際交流プログラムとして、「文通交流」と「オンライン交流（zoom）」を実施した。

1. 地球家族プログラム主催:文通交流プログラム

① 期間

名古屋大学の留学生と地域の日本人ボランティアとの間で、EメールやSNSを使わず、手紙による国際交流の機会をつくるため文通交流プログラムを、春学期は5月～9月（8組）、秋学期は10月～2月（16組）と期間を限定して2回実施した。

② 留学生の募集

留学生にはフェースブックとフロントライン（教職員用メーリングリスト）で広報をして、在日留学生だけでなく、コロナ禍において渡日できず、自国にいる留学生も参加できるようにオンラインで応募可能とした。（海外在住の留学生は24人中3名）

③ 日本人の募集

日本人は、以前からホームステイ・ホームビジットでお世話になっているボランティア団体や個人登録者に協力をお願いした。

④ マッチング

留学生、日本人双方の応募の際に、趣味、自己紹介、日本語・英語のほかに手紙で使ってみたい言語を記入してもらい、マッチングの際の参考とした。

⑤ ホストファミリーの感想より抜粋

- コロナ禍で家にいる時間が多い昨今ですが、手紙を通じての交流も改めていいことだと感じました。い

い意味で若い人からの刺激も受けました。

- やり取りの回数は少なかったですが、とても流暢な日本語で書かれた長いお手紙をいただいて感動しました。プログラム期間は終わりましたが交流を続けていけたらいいなと思います。
- お互いの趣味についてやり取りをすることができ、現地の方の趣味について意外な一面を知ることができました。今後も交流を続けられそうな期待が持て、大変有意義でした。

⑥ 留学生の感想より抜粋

- 日本語の練習、文化の体験になります。コロナ禍の中、大変貴重な経験となりました。
- とても素晴らしい企画だと思います。文通も楽しくして、日本語も向上させました。機会がありましたらまた参加したいと思います。
- 日本生活を聞いて、面白い時間になりました。いつも私の学校生活をしんばいしてくださって、感謝の気持ち一杯です。手紙のおかげで無事夏休みをおくることができました。ありがとうございます。
- At first, it is difficult to read the Kanji in handwriting style. Hence, it took me nearly a week to understand the content of the mail. Fortunately, the pen pal provided furigana in the following letters with clearer grammar. Therefore, I can understand and response quickly. Through letter exchange, I have learnt a lot about the Japanese formal letter, the phrase, and the grammar. The pen pal helps me a lot to understand the culture of Japanese in general.

2. オンラインホームビジット

① 概要

夏と春の2回行われる名古屋大学短期日本語プログラム（NUSTEP）2週間のプログラムに参加した留学

生のうち、オンラインホームビジット参加希望者にむけ、プログラムを実施した。NUSTEPでは、名古屋大学との提携校である海外大学の学生が参加している。オンラインホームビジットは日本人一般家庭のいろいろな世代の日本人と交流し知り合いができるため留学生に大変好評である。

② ホストファミリー

ホストファミリーは、多言語活動をしているヒッポファミリークラブの会員にお願いした。ヒッポファミリークラブでは、コロナ禍になり普段の活動を対面での活動からオンライン（zoom）に移行しており、一般会員も zoom を使いこなしていたため交流がスムーズに行なえた。当日の進行、プログラム構成等は、ヒッポファミリークラブの事務局に運営していただいた。

③ 当日の進行

- 12:20 打ち合わせ開始（ヒッポファミリークラブ）
- 12:50 留学生、ホストファミリー 入室開始
- 13:00 全体会開始
司会挨拶、プログラム紹介、ヒッポファミリークラブ代表者挨拶
- 13:05 名古屋大学 担当者挨拶
名古屋大学国際教育交流センターアドバイザー
ング部門 教授・田中京子
- 13:10 ヒッポファミリークラブ紹介
- 13:15 9組の学生とホストファミリー対面式
- 13:25 多言語の曲でゲーム
- 13:30 交流タイム（8つのブレイクアウトルームへ）
- 14:00 ヒッポメンバーがブレイクアウトルームへ参加
- 15:00 各ルームでそれぞれ終了

④ 日本人の感想より抜粋

- 日本が大好きなよく笑う子で、素敵な自己紹介のバワーポイントも用意してくれてたので、途切れることなくたくさん話ことができました。これからも交流を続けて、必ず会いたいと思ってます。楽しい企画をありがとうございました。
- 日本に来たことがあることがわかったの、行ったことがあるところや、食べたことのある食べ物、少しずつ共通の話題を見つけて仲良くなっていくことができました。関西から東京に移動する途中で、名古屋に泊まったことがあるけど、観光はしていないと言っていたので、是非次回日本に来たときに一緒に名古屋城にいたり、大須を食べ歩きしたりしよ

うねと話をしました。2時間のオンライン交流でも仲良くなれることを実感したので、また参加したいと思いました。

- 「普通の家を見たいですか？見たことがありますか？」と尋ねたところ、日本ではホテルでしか滞在していないので、見てみたいということで、家の中と庭と家の周りをスマホで軽く案内しました。やはり量が珍しかったようです。
- やっぱり会って話したいという気持ちは強くなりましたが、飛行機に乗る事なく普段の生活の中で海外の方とこんな風にやりとりができるなんて素晴らしいと改めて感じる事ができました。今日もLINEでやり取りをしています。行けるようになったら名大のプログラムで日本に行きたいと話していました。近い将来本当に会える事ができたら最高だなと思います。
- 日本のトイレやお風呂、たたみの部屋について知りたいと、事前にリクエストをもらっていたので、事前に撮影した動画を観てもらったり、ルームツアーをしたり。途中から入ってくれたメンバーさんが、お抹茶をたててくれたり、屋上からの景色を見せてくれたり。相手の留学生も出身の島の話、ご家族、学校、好きなこと等、たくさん話してもらえたと思います。子ども達はガッチャガチャでしたが、想像以上に楽しい交流になりました。

⑤ 留学生の感想より抜粋

- 日本語を学び始めて数年、日本人の先生と話す機会が殆どなくて、まして日本の一般家庭の方と交流するのは本当に初めてで、すごく緊張していましたが、イベント開始直後にヒッポファミリークラブの皆さんとゲームをして、その緊張はすぐ解消しました。
- 個別交流コーナーでご一緒した皆さんはとても温かく接してくださって、私が聞き取れなかったことのもすごく丁寧に解説してくれました。ほんの数時間でしたが、日中両国の食文化やコロナ禍における日常生活などについてたくさん話することができて、とても貴重な経験でした。最後にホストファミリーの皆さんと連絡先も交換できて、これからも交流を深めたいと思います。
- 最初、日本人の本物の部屋が見ることができて、わくわくしながらも、自分がひとりでみんなと会話ができるかどうか心配していました。でも、家族と

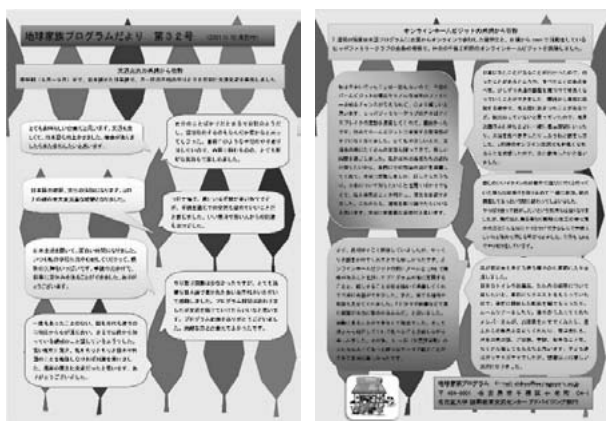


図1 地球家族プログラムだより 32号

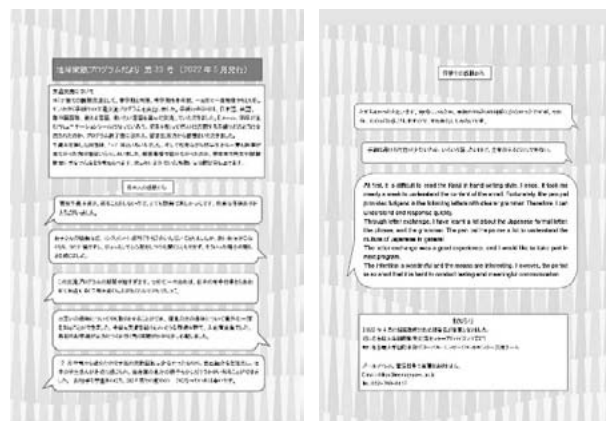


図2 地球家族プログラムだより 33号

ヒポファミリーの皆さんは部屋を紹介したり、根本の美しい写真と名古屋の名物食べ物を見せたり、しかも手作りのパンダの飾り物も見せたりして、いろいろ親切してくれてとても感動しました。

3. 地球家族プログラムだより

「地球家族プログラムだより」32号(図1)、33号(図2)に文通交流、zoom 交流後のアンケート結果報告を掲載した。

4. 来年度に向けて

留学生の入国規制が徐々に緩和され、7月には全員が入国できる方向にあるとの見通しである。

名古屋大学に在籍している留学生に対しては、文通交流プログラムは今年度で終了し、来年度は、対面でのホームステイ・ホームビジットの前段階として、名古屋大学在籍生にオンライン zoom 交流を企画する予定である。zoom 交流が出会いのきっかけとなり、気の合った方々には、コロナが落ち着いたときに自由に交流していただける可能性があるプログラムとして提供していきたい。